

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	救急出動中、救急車が横転し隊員が負傷したもの。
3. 体験した事例の中心的要素	予測した安全管理ができていなかった。
4. 体験した事例の原因・理由	1 冬季で橋上を走行する際の注意を怠り（段差・凍結を考えず）スリップした。 2 直前までの道路(橋を含む)に凍結がなく、この先も同じ状況と判断してしまった。

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

.....

1. 発生日時	平成 9 年 1 月 6 日 午前 8 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：冬季の橋上
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	交通事故、
7. 事例体験時の活動	救急、出勤途上、 []
8. (7 の活動中) どのような作業中に発生したか	その他：出勤途上
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[40]歳、勤続年数[16]年、現場経験年数[16]年、階級[消防司令補]、同様の活動 [頻繁]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[35]歳、勤続年数[16]年、現場経験年数[16]年、階級[消防副士長]、同様の活動 [頻繁]、任務 [機関員]
○当事者C	年齢[20]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[1]年、階級[消防士]、同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	A・B・C	救急隊3人乗り組み現場へ走行中	
経過2	B	危険予測の誤認	
経過3	A	危険予測の誤認	
経過4	C	救急活動の準備を整え、隊員席に座っていた。	
経過5	B	スリップにより制御不能となり横転した	
経過6	A	事故後、本部へ概要報告	
経過7	A	走行不能のため、別救急隊の出動要請	
経過8	A	二次災害防止及び乗組員の傷病の確認	
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】

.....

- 事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

その他：機関員・隊員が打撲等（軽症）の怪我をした。

- 心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c . 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d . 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○ 装備・資機材について

e . 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○ 活動環境について

f . 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g . 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h . 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○ 指揮・管理について

i . 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k . 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○ その他

l . その他の理由があった。

いいえ	
-----	--

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○ 注意力欠如、焦り等の対策について

署全体で、本件事案について検討・考察し、二度と同じ災害を発生させないように周知徹底した。

○ 装備・資機材の対策について

なし

○ 活動環境の対策について

市内の冬季凍結場所を実際にチェックし、地図を作成・掲示し、大交替時に当務員全員に確認させ、事故防止を行っている。

○ 指揮・情報伝達の対策について

機関員にまかせっきりになるのではなく、隊長・隊員も自分自身が運転している気持ちで指示等を行っている。

